JPI催しのご案内

第22回 包装材料セミナー

オンライン配信

日　時：令和9年1月22日（金）　13:00～16:50
主　催：公益社団法人日本包装技術協会

包装材料セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ（URL:https：//www.jpi.or.jp/）より参加登録をお願いします。
Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。
お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

プログラム

13:00～13:50　講 師　農林水産省 輸出・国際局 規制対策グループ 海外対策室 課長補佐　内山　智晴 氏

講演内容『EUの包装及び包装廃棄物規則（PPWR）～食品輸出の観点から～』

欧州委員会は、EU域内の包装全般の廃棄物削減等を目的に、包装及び包装廃棄物規則（PPWR）を2025年2月に発効し、2026年8月から有害物質（重金属やPFAS）規制や適合宣言書の作成などの一部要件が一般適用となった。さらに2030年以降には、全ての包装をリサイクル可能とする要件や、包装中のリサイクル材の含有率の設定など、事業者に大きな影響を与えうる要件が段階的に適用される予定である。本講演では、日本からEUへの食品の輸出状況を紹介するとともに、PPWRがEUへの食品輸出に与える影響や、EU向けに食品を輸出する事業者が求められる対応等について解説する。

14:00～14:50　講 師　株式会社CFP 代表取締役社長　福田　奈美絵 氏

講演内容『実稼働から見えた油化ケミカルリサイクルの現状と課題 ～国内で資源を循環させるために、容器包装設計へ期待すること～』

プラスチック資源循環促進法のもと、容器包装における環境配慮設計や再生材の利用拡大が強く求められています。一方で、汚れが付着したプラスチックや複合素材（マルチマテリアル）はマテリアルリサイクルが難しく、その解決策として廃プラスチックを熱分解して油に戻し、国内の石油精製・石油化学工程を経てバージン同等樹脂へと再生する「油化ケミカルリサイクル」に大きな期待が寄せられています。2024年3月（令和6年）に改正された厚生労働省の指針により、ケミカルリサイクル手法で原料物質のレベルまで分解・精製された材料が「一次原材料」として位置づけられたことで、食品用途での活用にも道が開かれました。

当社は2023年12月に岡山ケミカルリサイクル工場での商業運転を開始し、ISCC PLUS認証のもと、国内石油精製・石油化学メーカーへ廃プラスチック分解油を供給してまいりました。さらに、使用済み食品容器を地域で回収し再び容器へと戻す「瀬戸内資源循環プロジェクト」など、国内循環モデルの実証・推進にも取り組んでいます。

本講演では、国内における廃プラスチックの回収・選別から樹脂・容器包装へ再生される一連の資源循環フローと、その最新の現状をご紹介します。あわせて、実際に日々廃プラスチックを処理・油化する現場の立場から、廃プラスチック分解油の品質を大きく左右する塩素分・窒素分などの影響や、回収・選別現場の実態といったリアルな課題を率直にお伝えします。国内での資源循環を実効性あるものにするために、包材の設計・開発に携わる皆様にぜひご検討いただきたいポイントを、リサイクラーの知見から提案・共有いたします。

15:00～15:50　講 師　三菱ケミカル株式会社 アセチルポリマーズテクノロジーセンター ソアノール研究開発グループ マネジャー　菊地　光平 氏

講演内容『Nichigo G-Polymer™の水溶性を活用した多層体の水分離による新しいマテリアルリサイクル』

昨今、多層包材の端材をリサイクル層として導入するリサイクル手法が国内外に於いて広く普及している。一方で、異樹脂どうしの相溶性が低いことによる成形時の異物や外観不良の発生、機械物性の低下などの問題が発生することがある。

ガスバリア性を有する樹脂であるNichigo G-Polymer™を多層包材の中間層に使用することで高いガスバリア性を有する包材を提供可能である。さらに、Nichigo G-Polymer™水溶性を活かして多層包材からバリア材を除去することができ、ユニークなマテリアルリサイクル包装を設計可能である。

本発表では、Nichigo G-Polymer™を用いたリサイクルの設備探索や取り組み状況などについて紹介する。

16:00～16:50　講 師　株式会社セブン-イレブン・ジャパン　QC・物流・生産管理本部 サプライチェーン企画部 総括マネジャー　上條　智 氏

講演内容『商慣習の見直しによる飲料サプライチェーン改革～鮮度逆転緩和を起点としたフードロス・物流コスト削減への挑戦～』

年間の新発売商品の多い飲料業界では、複数の製造工場と物流拠点が入り組む複雑なサプライチェーン構造であると共に、「小売りに納品する商品の日付逆転を防ぐ」という商慣習が長年維持されてきた。さらにその慣習を守るために、飲料大手5社だけでも相当な非効率な輸送が発生しており、さらに大量のフードロスも生じている。物流ドライバー不足やGHG排出削減への対応が社会的急務となる中、この構造的な課題の解決は業界全体にとって待ったなしの状況である。

当社は、この課題に正面から向き合い、店舗への納品期限・販売期間は変えず、メーカーや共同配送センターと連携しながら納品ルールを緩和する「鮮度逆転許容」を飲料メーカーとともに先行実施した。長年、当たり前のように実施してきた商慣習を打破し、物流効率化・廃棄ロス削減にとどまらず、GHG削減・ドライバー不足解消・フードロス削減といった社会課題の解決にも貢献するこの取り組みを紹介する。

講師のご紹介

内山　智晴（ウチヤマ　トモハル）氏
農林水産省　輸出・国際局　規制対策グループ　海外対策室　課長補佐

略歴　2021年４月　在シンガポール日本国大使館
2024年４月　農林水産省　輸出・国際局　海外需要開拓グループ
2026年７月　現職

福田　奈美絵（フクダ　ナミエ）氏
CFP Group 統括／株式会社CFP、株式会社リサイクルエナジー　代表取締役社長
廃プラスチックのマテリアルリサイクルおよびケミカルリサイクル（油化）事業を推進

略歴　2003年10月　株式会社CFP設立
2010年　6月　株式会社リサイクルエナジー設立
2023年12月　岡山ケミカルリサイクル工場の商業運転を開始
現在　ISCC PLUS認証のもと、国内の石油精製・石油化学メーカーへ
廃プラスチック分解油を供給
油化拠点の拡大および地域資源循環モデルの構築に取り組む

菊地　光平（キクチ　コウヘイ）氏
三菱ケミカル株式会社　アセチルポリマーズテクノロジーセンター
ソアノール研究開発グループ マネジャー

略歴　2017年　三菱ケミカル㈱入社　接着樹脂「Modic」の研究開発に従事
2020年　EVOH「SoarnoL」の研究開発に従事
2025年より　BVOH「Nichigo G-Polymer™」の研究開発に従事　現職

上條　智　氏（カミジョウ　サトシ）氏
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
QC・物流・生産管理本部 サプライチェーン企画部 総括マネジャー

略歴　大学卒業後、百貨店にて外商部門を担当。
2001年セブン - イレブン・ジャパン入社。
店舗経営相談員、地区マネジャーを経て、2010年より商品本部。
地区商品開発担当（東海・関西・長野山梨）等を経験後、飲料・酒・加工食品のマーチャンダイザーを長年担当。
2026年3月より現職。

包装材料セミナー企画委員

■**大橋　敬史 委員** マースジャパンリミテッド　アジア太平洋地域　研究開発部　パッケージマネージャー
■**芋田　大輔 委員** 東洋製罐㈱　テクニカルセンター　プラスチック技術開発部長
■**大葛　貴良 委員** ユニチカ㈱　包装フィルム統括営業部　市場開発グループ グループ長
■**佐野　充由 委員** ㈱明治　研究本部　包装研究ユニット　包装グループ　グループ長
■**鈴木　　真 委員** ㈱クラレ　エバール事業部　市場開発部
■**山住　　弘 委員** 雪印メグミルク㈱　ミルクサイエンス研究所　技術開発研究室　主査
■**藤村香往里 委員** ＴＯＰＰＡＮ㈱　生活・産業BU　製造・技術統括本部SXパッケージ開発本部　モノマテ推進部　フィルム開発チーム
■**磯　　忍 委員** アサヒ飲料㈱　研究開発本部　技術研究所　容器包装グループ　グループリーダー

開 催 要 領

■日　時：令和9年1月22日(金)13:00～16:50
※Zoomを利用したオンラインセミナー形式申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

■参加費：

1名分参加費	会　員	一　般
本　　体	9,000円	20,000円
消費税10%	900円	2,000円
税込合計	9,900円	22,000円

■定　員：100名

【参加申し込み方法と注意事項】

【参加申込方法】
- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用してのオンライン配信となります。お申し込みは当会ホームページの包装材料セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL：https：//www.jpi.or.jp/
- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。（登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。）
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】
①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
④申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意下さい。
⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意下さい。

【個人情報の取り扱いについて】　1.個人情報は「第22回包装材料セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。 2.参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

■お問い合わせ先■
公益社団法人日本包装技術協会　包装材料セミナー係　担当：小橋・佐藤
〒104-0045　東京都中央区築地４－１－１　東劇ビル10F
TEL.03 (3543) 1189　FAX.03 (3543) 8970　e-mail：satou@jpi.or.jp